

2013年度生用 カリキュラム

		1セメ(春)	2セメ(秋)	3セメ(春)	4セメ(秋)	5セメ(春)	6セメ(秋)
法律基本 科目群 (67単位 必修)	公法系 (14単位 必修)	憲法Ⅰ④ (基本的人権)	憲法Ⅱ② (憲法総論・統治機構論)		憲法演習② (判例事例演習)		
				行政法② (行政法総論・行政救済法)	行政法演習Ⅰ② (判例演習)	行政法演習Ⅱ② (事例演習)	
	民事系 (39単位 必修)	民法Ⅰ③ (民法総則・物権法)	民法Ⅲ④ (債権総論・担保物権法)	民法演習Ⅰ② (要件事実・事実認定の基礎)	民法演習Ⅲ③ (債権総論・債権各論判例演習)	民法演習Ⅳ① (事例演習)	民法演習Ⅴ① (事例演習)
		民法Ⅱ③ (契約法)	民法Ⅳ① (法定債権)	民法演習Ⅱ③ (民法総則・物権法・ 担保物権法判例演習)			
		民法Ⅴ① (家族法)		民法Ⅴ① (家族法)			
		民法基礎演習Ⅰ① (民法総則・物権法・ 契約法)	民法基礎演習Ⅱ① (債権総論・担保物権法・ 法定債権)				
			商法Ⅰ④ (会社法)	商法Ⅱ① (商法総則・商行為・ 手形小切手法)	商法演習Ⅰ② (会社法判例事例演習)	商法演習Ⅱ① (会社法判例事例演習)	
			民事訴訟法Ⅰ② (第1審手続)	民事訴訟法Ⅱ② (複雑訴訟・上訴再審・執行保全)	民事訴訟法演習Ⅰ② (判例演習)		民事訴訟法演習Ⅱ① (事例演習)
	刑事系 (14単位 必修)	刑法Ⅰ③ (刑法総論)	刑法Ⅱ② (刑法各論)	刑法演習② (判例事例演習)			刑事法総論② (刑事法判例事例演習)
			刑事訴訟法③		刑事訴訟法演習② (判例事例演習)		
法律実務基礎科目 群 (必修3科目6単位を 含む5科目10単位 以上選択)	法情報調査①		法情報調査①	民事模擬裁判①	法文書作成①	民事模擬裁判①	
	実務法学入門②		法文書作成①	刑事模擬裁判①	法曹倫理②	刑事模擬裁判①	
				要件事実・事実認定②	民事訴訟実務の基礎②	要件事実・事実認定②	
					刑事訴訟実務の基礎②	公法実務の基礎②	
				エクスターンシップA①			
			エクスターンシップB②				
基礎法学・隣接科目群 (必修1科目2単位を含む 2科目4単位以上選択)	法と正義②	実務法曹と情報ネットワーク②	法と正義②	実務法曹と情報ネットワーク②	法の哲学と歴史②	実務法曹と情報ネットワーク②	
	公共政策論②		公共政策論②	外国法の基礎②	公共政策論②	外国法の基礎②	
展開・先端科目群 (14単位以上選択)	プログラム			3・5セメスター(春学期)		4・6セメスター(秋学期)	
	市民社会と法			労働法Ⅱ②		生活者と法②	法と情報②
				環境法Ⅱ②		法と居住②	環境法Ⅰ②
						消費者法②	刑事法展開②
						労働法Ⅰ②	債権回収の実務②
						法と宗教②	
	国際社会と法			アジア世界と法②		国際社会における 平和と人権②	中国法②
				国際法②		国際私法②	アメリカ法②
	経済社会と法			ビジネス法務・国際法務②	租税法②	倒産法Ⅰ②	
				知的財産法②	倒産法Ⅱ②	経済法②	
全プログラム共通			リサーチ・ペーパー②				
			特殊テーマ講座A①				
			特殊テーマ講座B②				

* 展開・先端科目群の配当セメスターは年度によって変更することがある。 * 科目名の後の○付き数字は単位数を表す。

◎修了要件単位数(標準3年コースの場合)

表中の必修の要件を満たした上、102単位以上修得のこと。

◎科目区分 濃い網掛けは必修科目、その他は選択科目。

◎備考 1. 本学の工学研究科が置く次の科目は、工学研究科との合意に基づき、本研究科の展開・先端科目群の一つとして扱う。

履修年次は、いずれも2・3年次とする。「特別講義 知的財産(2単位)」、「特別研修(2単位)」

2. 「エクスターンシップA」と「エクスターンシップB」を併せて履修することはできない。

3. 「リサーチペーパー」の研究対象は、展開・先端科目群の枠を超えて、自由に設定できる。

4. 「特殊テーマ講座」を、学生は最大4科目まで履修することができる。